



さいたま 来ぶらり通信

さいたま市図書館報

2014年3月15日発行

Contents

わがまちSai発見……………1,2

本棚ぶらり 大人も楽しめる絵本の世界……………3

図書館評価を実施しています 第14回現代短歌新人賞受賞作が決まりました……………4

わがまち

Sai 発見

はっけん



あの若田さんが名誉館長!

青少年宇宙科学館

をめぐる

宇宙飛行士の若田光一わかた こういちさんは現在、国際宇宙ステーションに長期滞在しており、3月9日から日本人初の国際宇宙ステーションのコマンダー（船長）となっています。若田さんは今号でご紹介する「さいたま市青少年宇宙科学館」の名誉館長でもあります。

さいたま市青少年宇宙科学館では「見て、ふれて、チャレンジできる科学館」をテーマに、様々なイベントを開催しています。



「若田宇宙飛行士展」開催中

1階にある「特別展示室」では「若田宇宙飛行士展」を開催しています。

目玉は日本初の展示となる「ソユーズ宇宙船搭乗体験装置」。若田さんが国際宇宙ステーションに向かうときに搭乗したソユーズの内部を再現したもので、装置の中に座って搭乗した気分を味わうことができます。この装置は「若田宇宙飛行士展」が終了した後も展示される予定です。



ハイブリッド・プラネタリウム

青少年宇宙科学館には「ハイブリッド・プラネタリウム」があります。直径23メートルのドーム天井に、約1000万個の星が投影できる光学式投影機と、迫力あるCG映像を映し出すデジタル映像システムを融合したものです。一般向けのプログラムのうち、「今夜の星空解説」と「星宙散歩ほしぞらさんぽ」では、解説員による臨場感たっぷりの解説を聞くことができます。特に「今夜の星空解説」では、その日の夜にさいたま市上空で見える星空を解説していて、星空を身近に感じることができます。



見てふれて楽しめる宇宙と科学の世界

宇宙のことだけではなく、実際に見て体験できる科学についての展示も数多くあります。

1階にある「ふしぎ広場」では音や光、目の錯覚などによって、ふしぎなことが起こる装置がたくさんあります。例えば、「昇る水面」は、水を利用して遠心力の働きを目に見えるようにしたものです。

2階は「ひまわり広場」と「宇宙広場」です。

昆虫や鉱物の標本、ミニ气象台や顕微鏡などがある「ひまわり広場」は、じっくり〈見る〉ことの楽しみを実感できます。土曜日・日曜日・祝日にはサイエンスショーが開催され、人気を博しています。また、特別サイエンスショーには「科学戦隊 さいレンジャー」も登場して、楽しい実験を見ることができます。



大人気の「科学戦隊 さいレンジャー」

「宇宙広場」は透明な球面上に星座などを投影した天球儀のほか、天体望遠鏡のしくみなどが展示されていて、宇宙への興味がかきたてられます。

◇ ◇ ◇

このほか、申し込みの必要な各種科学教室も開催されています。詳しい内容は「市報さいたま」または青少年宇宙科学館ホームページをご覧ください。